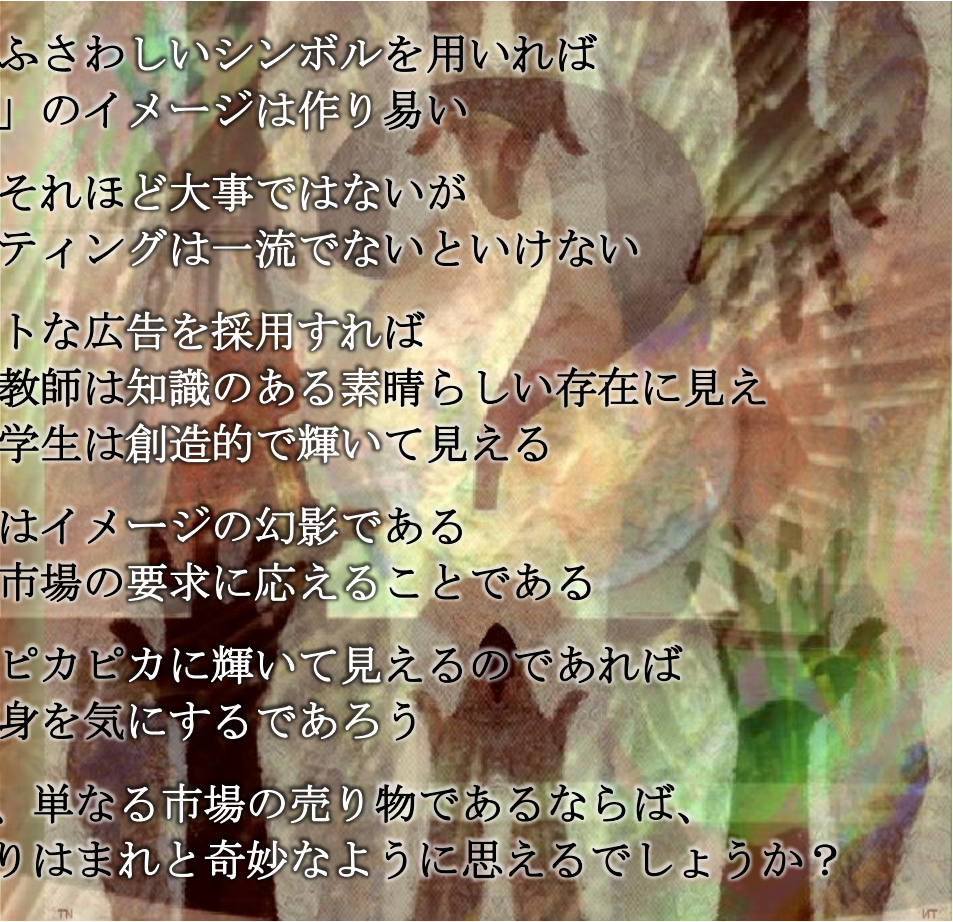




それにふさわしいシンボルを用いれば
「名門」のイメージは作り易い
中身はそれほど大事ではないが
マーケティングは一流でないといけない
スマートな広告を採用すれば
ただの教師は知識のある素晴らしい存在に見え
平凡な学生は創造的で輝いて見える
すべてはイメージの幻影である
それは市場の要求に応えることである
教育がピカピカに輝いて見えるのであれば
誰が中身を気にするであろう
学校は、単なる市場の売り物であるならば、
思いやりはまれと奇妙なように思えるでしょうか？

メリッサ： この人はシニカル過ぎ

リャオ： たぶん、最初になぜ人がシニカルになるかを考えてみるといいでしょう。私の意見では、人は無視され無力と感じると、反応が皮肉的になることがよくあると思います。

悟： ときどき皮肉は一種の毒ではないかと思います。すべてを疑って信念なしで生きる事は、はるかに簡単なこと。だが、信念を持って、実際に信じるには勇気がいります。

ティム： 皮肉的であることを気にしなくてもいいけど、あまりそれにこだわらないほうがいいでしょう。世界は広くて、いろいろな意味で私たちは無力です。時にはシニカルであっても驚くほどのものではありません。

悟： 「疑い」と「信頼」は正反対のように見えるかもしれませんが、私は、それらが実際に手を携えて行くと信じ始めています。疑問を持つことは問題ないが、疑問は簡単に答えが得られるものばかりではないことを、覚えていなければなりません。そんな時こそ内に秘めた信念が重要なのです。

- T Newfields (和訳：植谷メリッサ)

開始：1998年 静岡市 ★ 完成：2018年 横浜

